

文化プラザ ☎55-5711

プラザ イベントガイド

映画ドラえもん
「のび太とふしぎ風使い」

同時上映「パーマン」

と き 5月3日(土・祝)
1回目 午前10時～
2回目 午後1時30分～

ところ サンホール

入場料 前売り大人 1,000円
前売り中学生以下(3歳以上) 800円
(当日各 200円増、全自由席)



チケット発売日

4月4日(金)

備品箱の中には、事故などで流出したオイルをふき取る吸着マットや、油成分を分解する中和剤が備えられています。このような油もれ対策備



れ対策備品箱を設置しました。部では、地域社会への貢献活動の一環として、ガソリンスタンド周辺での油もれ事故などに對して、どなたでも利用でき、災害を最小にとどめていただけるように、市内のガソリンスタンドの屋外に油も

油もれ対策備品箱(オイル吸着マット・中和剤)を

市内のガソリンスタンドに設置しました

「もしも」「まさか」のあなたを守る
救急・消防最前線

市消防本部

☎53-0123

VOL. 11

危機管理はみんなの手で

岐阜県石油商業組合

土岐支部の取り組み

ひとこと

皆さんの暮らしを支える「燃料」を扱う産業にかかわる者としては、災害に対する意識を常に高く持たねばならないと思っています。

油もれ対策備品箱の設置は、市民の皆さんへの災害に対する意識の啓発というねらいもありますが、現状では官民一体となった危機管理が、まだ十分ではないと思います。

今後も支部の活動を通して、災害対策はもちろん、環境問題など幅広く地域に貢献していきたいと思っています。

岐阜県石油商業組合
土岐支部

大川 昭二さん

品箱を、組合全店で共同設置しているのは、全国的にも珍しい取り組みです。
なお、万一の場合に市民の皆さんに利用していただいても、利用した備品代金については、岐阜県石油商業組合土岐支部が負担しますので、気兼ねなく利用することができ

皆さんも、市内のガソリンスタンドに行かれた時には、このコーナーに関するお問い合わせは、北消防署(☎0119)へどうぞ。

一度お店の方にご確認ください。



吸着マットなどが備えられた備品箱

教育「夢」発信

今、学校では

こんな活動をしています

成果と課題を自己評価

小中学校では、教育活動の状況について先生方が自ら点検や評価を行い、教育の向上に努めています。保護者の方にも参観日や教育週間などで子どもたちの様子を見ていただき、意見をいただいています。

それぞれの学校で、特色を生かして開かれた学校づくりを進め、子どもたちがさらに生き生きと学校生活を送れるように、改善が図られています。

	評価事項
1	子どもと授業を大切にし、「生きる力」をはぐくむ
2	学ぶ楽しさのある授業
3	全職員の協力体制による明るく活力ある学校づくり
4	学校・地域の特色を生かした創意ある教育課程の編成と開かれた学校づくり
5	人間性を磨き、教師としての専門性を高める研修
6	確かな子ども理解に基づく教科、領域の指導と学級経営の力の向上
7	自ら学び、自ら考える力の育成
8	基礎的・基本的な内容の確実な定着

行われている評価項目の一部

子どもたち一人一人に確かな学力を

昨年度から全面实施されている学習指導要領は、一人一人に応じた指導の充実に努めることにより、基礎・基本をきちんと身に付けることを目指しています。市内の学校でも、先生方の努力により、子どもたちの確かな学力の向上の

一人一人に、きめ細かな指導を進めることにより

「いろいろな活動ができ、授業が楽しい。
自分の課題が解決できる。」



「発言の機会が増え、自信がついてきた。
質問も気軽にできる。」

市内の子どもたちが、確かな学力を身に付けるためにどんな勉強を進めているのか、来月からこのコーナーで学校ごとに紹介していきます。

ために、さまざまな工夫がされています。
例えば、子どもたちが意欲的に学べるような学習の流れを工夫したり、興味を持って勉強できるような教材を準備したり、時には教室から出て体験的な学習を進めたりしています。また、図書館やパソコンなどを活用する学習も行っています。
各学校ではこういった学習を通して、一人一人を大切にし、個に応じたきめ細かな指導を進めようとしています。一人一人の子どもたちに「わかる授業」、「楽しい授業」を目指し、学ぶ楽しさを味わうことができるように工夫しています。

悩んでいませんか？

～ファミリーカウンセラーがアドバイス～

Vol. 23

夫婦にかかわる悩みごと

●離婚問題



Q 夫の横暴に、25年間耐えてきた48歳の専業主婦です。今まで子どものためと思って我慢してきましたが、末の子が大学生になったころから、離婚を真剣に考えるようになりました。しかし、自分らしく生きたいという思いと、経済的な不安とのはざまで結論を出すことができません。

離婚前より幸福感を

味わえるかどうかが大切



A 離婚は今までの生活を壊して、まったく新しい生活を始めることですから、人生の中でも大きな犠牲を伴う変革といえるかもしれません。不安を感じない人

などほとんどいないのではないのでしょうか。あなたがこれからよりよい人生を送るためにも、離婚を決意する前に、離婚の三つの条件について考えてみましょう。

あなたも不安に感じている経済的自立は、離婚の条件の大きな柱です。あなたは長い間夫の横暴に我慢してきたということですが、夫の経済力に頼ってきたことも事実です。中年の女性が職を得るのは厳しい世の中ですが、自立の道を確保しなければなりません。

第二の条件は、精神的な自立です。夫の横暴から開放され、自分の思い通りにできる半面、今後は自己責任や自己判断が求められます。人頼みにはできません。

そして第三に、離婚前よりも気持ちが楽になり、幸福感を味わえるかどうか大切です。大きな犠牲を払って離婚するので、落ち込んだり後悔したりせずに、友人の輪や趣味などを広げていくようにしましょう。

これらを参考に、あなたならどんな準備ができ、どのような自分になれるのかをよく考えてから、結論を出したらいかがでしょうか。（カウンセラー・奥林敦子）